

エコアクション21

環境活動レポート

(令和5年11月～令和6年10月)



雨水を回収し再利用



(令和7年2月作成)

[基本理念]

当社は総合建設業として、これからの地球環境を守っていくため、人と地球にやさしい建設業を目指し、社員全員で環境負荷の軽減に取り組み、環境経営の継続的改善を誓約します。

[行動指針]

- I 地球環境保護のため、省資源・省エネルギー・リサイクル活動を推進し、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水利用量の削減に努めます。
- II 事務用品等のグリーン購入に努めます。
- III 環境に配慮した設計・施工に積極的に取り組みます。
- IV 環境関連の法律を遵守します。
- V 全社員に環境に関する教育を行い、環境保全の意識を高めます。
- VI 環境活動レポートを公表し、地域社会とのコミュニケーションを図ります。

平成22年9月1日 制定

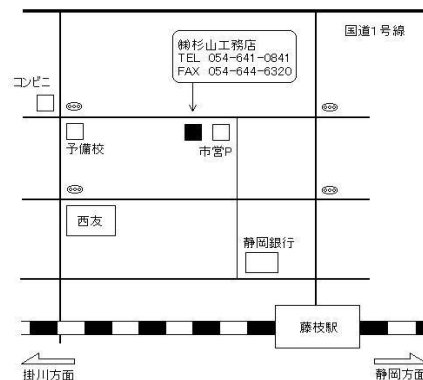
令和3年9月1日 改定

株式会社 杉山工務店
代表取締役 飯田 法弘

*** 事業概要 ***

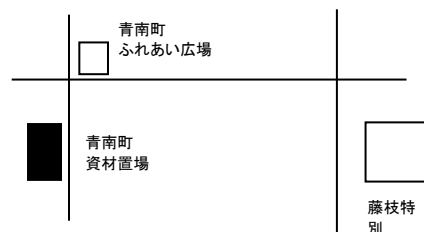
会社名	株式会社 杉山工務店	
代表者名	代表取締役 飯田 法弘	
資本金	61,800,000円	
営業種目	・土木、建築、水道施設工事業 ・下水道排水設備工事業 ・不動産の売買及び貸借 ・建築設計事務	
創 業	昭和4年5月	
設 立	昭和33年5月 株式会社 杉山工務店に組織変更	
本 社	〒426-0034	静岡県藤枝市駅前二丁目4番16号 TEL (054)641-0841 (代表) FAX (054)644-6320 (代表)
青南町資材置場	〒426-0063	静岡県藤枝市青南町4丁目1-2、3
下青島車両置場	〒426-0035	静岡県藤枝市下青島31-5他
建設業許可	静岡県知事許可 (特-3) 第838号 (至 令和8年10月24日)	
一級建築士事務所登録	静岡県知事登録 (13) 第1105号 (至 令和9年7月1日)	
宅地建物取引業免許	静岡県知事免許 (12) 第4284号 (至 令和9年2月14日)	
環境管理責任者 及び担当者名	環境管理責任者 環境事務局 杉山 敬吾 担 当 者 環境事務局 杉山 敬吾 TEL (054)641-0841 E-mail sgk838@r3.dion.ne.jp	
事業の規模	売上高	6億2830万円 (令和6年度)
	従業員数	25人 (令和6年10月現在) 1級土木施工監理技士 9人 2級土木施工監理技士 3人 1級建築施工監理技士 4人 1級建築士 2人 2級建築士 1人 宅地建物取引主任者 1人
	事業所床面積 (延べ床)	本社 825㎡ 下青島車両置場(倉庫2Fのみ) 195㎡
	車両台数	普通自動車 20台 ダンプトラック (2t)1台 (4t)2台 クレーン付トラック 1台 小型トラック (wキャブ)2台 (パワーゲート)1台 軽トラック 1台 ショベル系掘削機 3台 ホイールローダー 1台
事業年度	11月1日～翌年10月31日	
エコアクション年度	11月1日～翌年10月31日	

◆本社



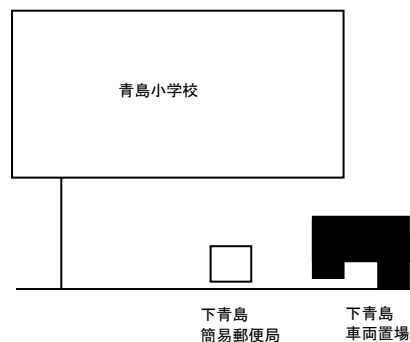
静岡県藤枝市駅前二丁目4番16号
TEL (054)641-0841
FAX (054)644-6320

◆青南町資材置場



静岡県藤枝市青南町4丁目1-2、3

◆下青島車両置場

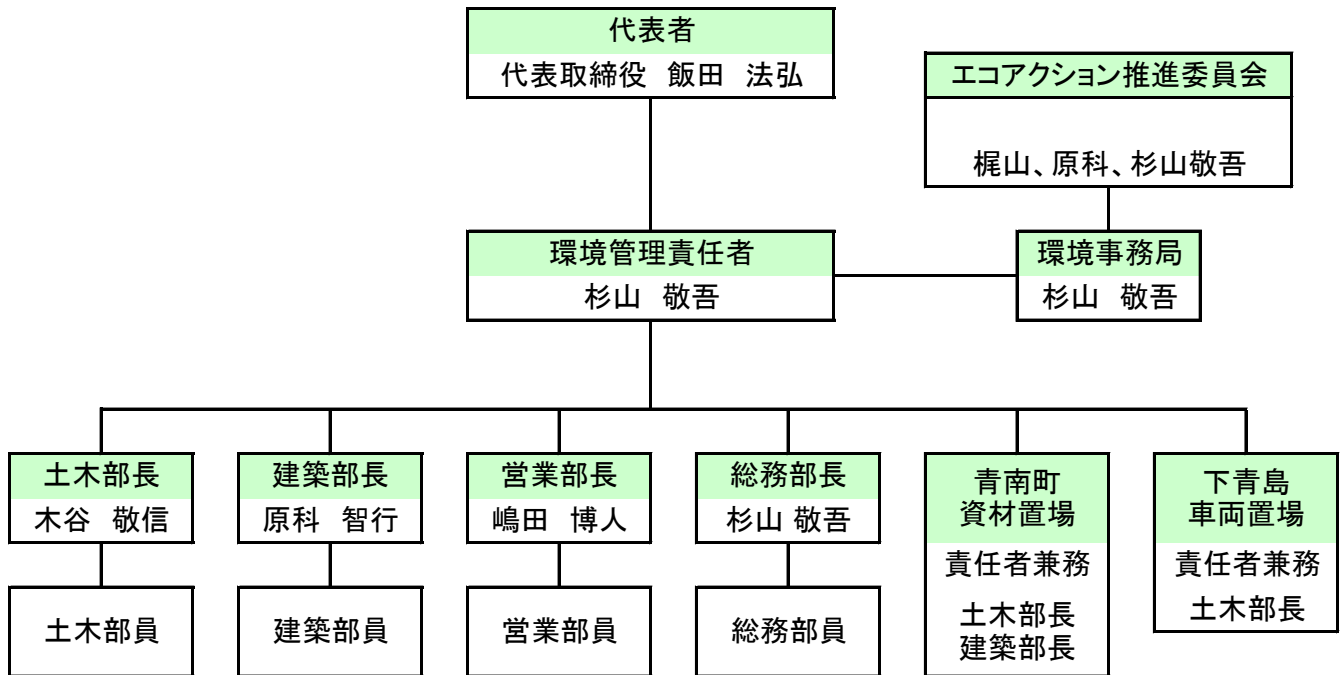


静岡県藤枝市下青島31-5他

- ・社員駐車場
- ・建物1Fを警備会社に賃貸中
- ・建物2Fは倉庫

*** 株式会社杉山工務店 実施体制 ***

2025年10月現在



担当	役割・責任・権限
代表者	統括責任者 環境管理責任者指名 全体の評価と見直し・指示 環境経営方針の策定 緊急事態発生時の統括 経営資源(人・物・情報等)準備 実施体制の構築
環境管理責任者	社長の指名を受け実施責任 システムの見直し システムの状況を代表者に報告 是正及び予防処置の対応及び指導 緊急事態発生時の対応実施と報告
エコアクション 推進委員会	環境活動計画・次年度取組内容の協議 環境改善に関する会議の実施
環境事務局	全体計画の立案 文書の作成・管理 環境教育訓練の実施 環境関連コミュニケーション窓口
部門長	各部門全体の責任者 部門内の問題点の発見及び報告
全従業員	積極的に環境保全活動へ協力

*** 環境経営目標 ***

【中長期目標】

環境目標は令和元年度を基準年度とした基準年度比を示す。

管理対象項目		単位	基準年	目標値					
			令和元年	令和2年		令和3年		令和4年	
			平成30年11月～ 令和元年10月	比率	数値	比率	数値	比率	数値
二酸化炭素総排出量		Kg-CO ₂	104,969.6	-0.5%	104,444.8	-1.0%	103,919.9	-1.5%	103,395.1
二酸化炭素総排出量 (完工高100万円当たり)		Kg-CO ₂ /完 工高100万円	162.7	-0.5%	161.9	-1.0%	161.1	-1.5%	160.3
二酸化炭素総排出量 (工事1件当たり)		Kg-CO ₂ / 工事1件	137.9	-0.5%	137.2	-1.0%	136.6	-1.5%	135.9
電力		kwh	48,531.0	-0.5%	48,288.3	-1.0%	48,045.7	-1.5%	47,803.0
都市ガス		Nm3	41.0	-0.5%	40.8	-1.0%	40.6	-1.5%	40.4
灯油		L	148.0	-0.5%	147.3	-1.0%	146.5	-1.5%	145.8
ガソリン		L	18,679.3	-0.5%	18,585.9	-1.0%	18,492.5	-1.5%	18,399.1
軽油		L	14,571.6	-0.5%	14,498.7	-1.0%	14,425.9	-1.5%	14,353.0
水使用量		m3	191.0	-0.5%	190.0	-1.0%	189.1	-1.5%	188.1
廃棄物 排出量	一般廃棄物	トン	0.6	-0.5%	0.6	-1.0%	0.6	-1.5%	0.6
	建設混合廃棄物	トン	18.5		18.4		18.3		18.2
グリーン購入(文具)		%	50%	購入金額の50%以上		購入金額の50%以上		購入金額の50%以上	
環境配慮型設計及び その他の取組み		点	0.0	2		2		2	

*** 環境経営目標 ***

【中長期目標】

環境目標は令和元年度を基準年度とした基準年度比を示す。

管理対象項目		単位	基準年	目標値					
			令和元年	令和5年		令和6年		令和7年	
			平成30年11月～ 令和元年10月	比率	数値	比率	数値	比率	数値
二酸化炭素総排出量		Kg-CO ₂	104,969.6	-2.0%	102,870.2	-2.5%	102,345.4	-3.0%	101,820.5
二酸化炭素総排出量 (完工高100万円当たり)		Kg-CO ₂ /完 工高100万円	162.7	-2.0%	159.5	-2.5%	158.7	-3.0%	157.9
二酸化炭素総排出量 (工事1件当たり)		Kg-CO ₂ / 工事1件	137.9	-2.0%	135.2	-2.5%	134.5	-3.0%	133.8
電力		kwh	48,531.0	-2.0%	47,560.4	-2.5%	47,317.7	-3.0%	47,075.1
都市ガス		Nm3	41.0	-2.0%	40.2	-2.5%	40.0	-3.0%	39.8
灯油		L	148.0	-2.0%	145.0	-2.5%	144.3	-3.0%	143.6
ガソリン		L	18,679.3	-2.0%	18,305.7	-2.5%	18,212.3	-3.0%	18,118.9
軽油		L	14,571.6	-2.0%	14,280.2	-2.5%	14,207.3	-3.0%	14,134.5
水使用量		m3	191.0	-2.0%	187.2	-2.5%	186.2	-3.0%	185.3
廃棄物 排出量	一般廃棄物	トン	0.6	-2.0%	0.6	-2.5%	0.6	-3.0%	0.6
	建設混合廃棄物	トン	18.5		18.1		18.0		17.9
グリーン購入(文具)		%	50%	購入金額の50%以上		購入金額の50%以上		購入金額の50%以上	
環境配慮型設計及び その他の取組み		点	0.0	2		2		2	

※ 次年度(令和7年度)の環境経営目標の削減比率は、-3.0%で計画します。

今回、基準年を令和元年に設定したが、建設業の場合、その年の工事種別や内容により、CO2排出量の増減が左右される為、3ケ年の目標値は下げることが出来た。

当面、同じ基準年設定で行うが、基準年数値を取るか3ケ年の平均数値を取るかなどの検討課題は残る。

購入電力のCO2排出係数

・中部電力ミライズ(株) 0.433kg-CO₂/kWh

*** 環境経営計画 ***

活動計画		活動計画内容	実施箇所	担当部署 (担当者)	評価
二酸化炭素排出の低減	電力量の削減	無人にする部屋の消灯 使用していない機器の電源OFF エアコンの設定温度を夏28℃、冬23℃に設定 クールビズ・ウォームビズを奨励	事務所	全員 " " 石川	
	燃料使用量の削減	全車両のエコ・ドライブの周知 不必要なアイドリングの禁止 不要な荷物を降ろす 急発進、急加速の禁止 エンジンブレーキの積極使用 エアコンを控えめに 使用計画的な運転 作業中のエアコンのOFF タイヤの空気圧をチェック 車両の定期点検	現場	全員	
水使用量の削減		雨水をできるだけ使用 水を出しっぱなしにしない 水漏れ点検の実施	事務所	全員 " 総務部	
廃棄物排出量の削減		コピー用紙の両面使用 ペーパーレスに努める 電子マニフェストシステムの利用促進 ダンボール、雑誌等紙類のリサイクル 社内ゴミ分別体制の強化	事務所	全員	
		混合廃棄物分別体制の強化 マニフェスト伝票の適正処理	現場	土木部 建築部	
グリーン購入の推奨		備品等の購入に於いてグリーン購入を検討	事務所	山内・里中	
環境配慮型設計 及び 取組に関する目標		社内検査チェック点数全件80点以上 工事工程表どおりに工事を進める	建築・土木	全員	
		個人住宅について環境配慮型設計の提案	建築	原科	
		現場機械の始業前点検100%実施（排ガス不良等）	土木	全員	
		自らが施工する建設物の環境配慮（事前会議）	建築・土木	全員	

*** 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容 ***

取組内容	上期	下期	評価コメント	次年度取組内容
無人にする部屋の消灯	○	○	各機器に明示した。夏場に一部エアコンが設定温度以下になっていた。	社員の省エネ意識向上
使用していない機器の電源OFF	○	○		
エアコンの設定温度を夏28℃、冬23℃に設定	△	○		
クールビズ・ウォームビズを奨励	○	○		
全車両のエコ・ドライブの周知	△	△	現場での声かけ、掲示物などでエコドライブを意識するようになっていったが、周知徹底までに至らなかった。	こまめな整備点検、教育訓練等で指導
不必要なアイドリングの禁止				
不要な荷物を降ろす				
急発進、急加速の禁止				
エンジンブレーキの積極使用				
エアコンを控えめに				
使用計画的な運転				
作業中のエアコンのOFF				
タイヤの空気圧をチェック				
車両の定期点検				
雨水をできるだけ使用	○	○	水漏れの定期的な点検	継続
水を出しっぱなしにしない	○	○		
水漏れ点検の実施	○	○		
コピー用紙の両面使用	○	○	紙の使用量削減	継続
ペーパーレスに努める	△	△		
電子マニフェストシステムの利用促進	○	○	システム利用人材の増加	継続
ダンボール、雑誌等紙類のリサイクル	○	○	種別ごとの分別の意識向上	継続
社内ゴミ分別体制の強化	○	○		
混合廃棄物分別体制の強化	△	△	掲示物、分別用コンテナを設置し意識強化	全社員への周知徹底
マニフェスト伝票の適正処理	○	○	マニフェスト管理徹底	継続
備品等の購入に於いてグリーン購入を検討	○	○	社内備品のグリーン対象商品の把握ができた。	継続
社内検査チェック点数全件80点以上	○	○	全件80点以上	継続
工事工程表どおりに工事を進める	○	○	弊社による遅延工事なし	継続
個人住宅について環境配慮型設計の提案	×	×	該当工事がない。	検討継続
現場機械の始業前点検100%実施(排ガス不良等)	○	○	運転日報と社内コミュニケーション	継続
自らが施工する建設物の環境配慮	○	○	事前協議で、環境対策等も含める。 精算会議で環境配慮に付、反省・確認・対策を協議。	継続

*** 環境経営目標の実績 ***

取組期間中(5年11月～6年10月)の実績は次表の通りである。

管理対象項目	単位	基準年	目標値		実績値	評価
		令和元年 平成30年11月～ 令和元年10月	比率	数値	令和6年 令和5年11月～令 和6年10月	
二酸化炭素総排出量	Kg-CO ₂	104,969.6	-2.5%	102,345.4	151,156.69	×
二酸化炭素総排出量 (完工高100万円当たり)	Kg-CO ₂ /完工高 100万円	162.7	-2.5%	158.7	240.7	×
二酸化炭素総排出量 (工事1件当たり)	Kg-CO ₂ / 工事1件	137.9	-2.5%	134.5	209.6	×
電力	kwh	48,531.0	-2.5%	47,317.7	43,155.0	○
都市ガス	Nm3	41.0	-2.5%	40.0	2.0	○
灯油	L	148.0	-2.5%	144.3	172.01	×
ガソリン	L	18,679.3	-2.5%	18,212.3	19,345.83	×
軽油	L	14,571.6	-2.5%	14,207.3	33,781.25	×
水使用量	m3	191.0	-2.5%	186.2	281.0	×
廃棄物排出量	一般廃棄物	kg	-2.5%	585.0	436.0	○
	建設混合廃棄物	トン		18.04	9.88	○
グリーン購入(文具)	%	50%	購入金額の50%以上		50%	○
環境配慮型設計及び その他の取組み	点	0	2		0	×

【評価】(原因及び是正処置対策)

【計画】原因及び是正措置対策

二酸化炭素総排出量		×	増加した。特に建設現場利用の化石燃料が増加した。
二酸化炭素総排出量 (完工高100万円当たり)		×	増加した。同上。
二酸化炭素総排出量 (工事1件当たり)		×	工事1件当たりも増加した。同上。
電力		○	減少した。
都市ガス		○	減少した。
灯油		×	現場で使用した為、増加した。
ガソリン		×	官庁・民間工事等で、遠方に行くため増加した。
軽油		×	官庁・民間工事等で、重機の燃料を多用した。
総排水量		×	官庁工事等で、多用した為増加した。
廃棄物排出量	一般廃棄物	○	社内書類の両面印刷推進、社員一人一人の分別意識強化
	建設混合廃棄物	○	混廃を削減する対策を検討する。(下青島車両置場にある産廃ボックスへの対策が必要)
グリーン購入(文具)		○	
環境配慮型設計及び その他の取組み		×	本年度は無かったが次年度からは”環境配慮事業の取組み”として 事業活動全般に範囲を拡大し計画を策定していく。

・全体評価：全体的に使用量があがっている。個々のエコアクションへの意識向上が必要。

・購入電力のCO₂排出係数は、中部電力ミライズ(株) 0.433kg-CO₂/kWh を使用。

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟の有無

遵守確認日 令和6年10月31日

遵守確認者 杉山 敬吾

1. 環境関連法規等の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

適用対象	法規・条例・規制	適用内容または 規制基準値	備 考	遵守 確認
事業者全般	環境基本法	一般的な自主努力		○
	地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制装置	自治体施策への協力	○
	循環型社会形成推進基本法	3Rへの努力	廃棄物等の内、有用な物の循環的な利用を促進	○
	グリーン購入法	備品等の購入時、できる限り環境物品等を選択する		○
	自動車リサイクル法	引取業者への引渡し	リサイクル料金の支払	該当無
建設業	建設業法	建設工事の請負契約の適正化		○
	建築基準法	建築物の建築、土地の形状の変更等		○
	廃棄物の処理及び掃除に関する法律 (廃棄物処理法) ※静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	産業廃棄物マニフェストの管理 産廃電子マニフェストでの管理	A,B2,D,E票管理と5年間保管 引渡し後3日以内に電子登録	○
		廃棄物処理委託者と委託契約 処理施設の实地確認と記録	契約書の締結と許可証確認 年1回実施と5年間保存	○
		廃棄物の悪臭・飛散防止	車両荷台にシートを被せる等	○
	建設リサイクル法	分別解体の実施と再資源化	対象工事の説明書・届出書の提出	○
	騒音規制法	特定建設作業に伴う届出 規制基準の遵守	各市町村へ届出	該当無
	振動規制法	特定建設作業に伴う届出 規制基準の遵守	各市町村へ届出	該当無
	土壌汚染対策法	土壌の汚染状況の確認	管轄する自治体への相談・確認・ 報告	該当無
	フロン排出抑制法	重機のエアコン簡易点検 本社のエアコン簡易点検		○

2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟はありませんでした。

*** 環境管理責任者による見直し記録 ***

作成日： 令和6年11月

見直し 関連情報	項 目		評価・提案・コメントなどを記載	記入者	環境管理責任者
	1	環境方針	変更なし		
	2	環境目標及び目標達成状況	目標値オーバーの項目について原因の究明		
	3	環境活動計画及び取組の実施状況	月1回の安全教育の中で実施状況を把握		
	4	環境関連法要求一覧及び遵守状況	年1回の遵守チェック・廃棄物処理施設の実施確認		
	5	外部コミュニケーション・対応記録	・情報の記録と情報開示 ・周辺住民からの苦情、要望等はなし		
	6	問題点の是正・予防処置の実施状況	目標値と実績値の明示と次年度の取組内容の明示と全員での話し合いの機会		
	7	取引先・業界・行政機関等の外部動向	社内回覧・顧客メモによる		
	8	その他(地域貢献)	町内会との協定を結び(公園清掃活動・通学児童の安全指導		

*** 代表者による全体の評価・見直し指示 ***

エコアクション21に取り組み1年、認証後13年の計14年が経過しました。

環境を意識して業務を行ってきましたが、本年度の目標値と実績値の動向を考察すると、意識していたほど削減できていない項目もあります。

電力・都市ガス・水使用量に関しては、本社内での管理が主体な為管理し易いが、ガソリン・軽油・廃棄物などは現場主体になり、工事量また工事の種類により目標数値の設定が難しい為、目標値達成の難しさが伺えます。

15年目を迎えるにあたり、従業員一人一人のエコに対するレベルアップをはかり、CO2削減と環境への関心を高めるとともに、地域との交流活動の輪を広げ、エコと環境に対する活動を充実させていきたいと
思います。また、弊社は総合建設業でありますので、直接自然環境と向き合うことから始まり、人が利用
する空間や居住環境など、さまざまな分野に絡みがあるので、企業から個人まで、弊社の活動や商品が
さらなる地域のエコに対する種となり得るような活動や物づくりを目指したいと考えます。

作成日： 令和6年11月

代表取締役 飯田 法弘